

第5次勝山市総合計画 (改定版)

平成29年3月



ごあいさつ

このたび、平成32年度までのまちづくり指針である、第5次勝山市総合計画を改定いたしました。

勝山市ではこれまで、人々の新しい価値観による“豊かさ”を実現するために地域のアイデンティティを高めることを目指して「ふるさとルネッサンス」を理念に掲げ、これまでのまちづくりの指針であった「エコミュージアム」構想を「ジオパーク」の理念に包含して、市民が中心となったまちづくりを進めてまいりました。



人口減少や少子高齢化が一層進むなか、まちの活力を持続可能なものとするためには、観光の産業化推進から新たな仕事を生み出すことによりU・Iターンや定住促進のための施策を展開し、さらに人口の社会減を抑制する一方、子どもを産み育てやすい環境を整えて出生率を高め、人口の自然減を緩やかにする必要があります。さらには、いきいきと活躍する高齢者や交流人口を増やして、新たな域内需要を生みだしていくことが求められています。

第5次勝山市総合計画（改定版）では、「ジオパークの魅力を活かした ふるさとルネッサンスの実現」を基本理念に、勝山市が地方創生の時代にふさわしい魅力ある自治体としてさらに進化するため、これまでの「小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山」に加え、『「まちまるごとジオパーク」の魅力を活かした『ワクワクするときめきに満ちたまち勝山』』を目指すべきまちの姿に掲げています。

また、次代を担う子どもたちに向けては、ふるさとを誇りに思う心を醸成する教育を推進し、将来ふるさと勝山に寄与する人材を育てます。

さらに、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを進めることにより、ふるさと勝山が「いつまでも住み続けたいまち」、「いつかは帰りたくなるまち」、「いつでも帰れるまち」であり続け、50年、100年先まで持続的に発展し続けていけるまちづくりを進めてまいります。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、ご尽力を賜りました市総合行政審議会ならびに市議会の皆様をはじめ、市長と語る会や各地区区長会、パブリックコメント等を通じて貴重なご意見・ご提言をくださいました市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成29年3月

勝山市長 山岸 正裕